

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成30年9月3日

No.20

校長 坂野修一

天災は忘れた頃にやってくる？



まずひくく

DROP!



あたまをまもり

COVER!



うごかない

HOLD ON!

非常に強い勢力の台風21号が迫ってきています。明日の本校はもちろんのこと、明後日の登校に影響が出てきそうな恐れがあります。いづれにせよ、子どもたちの安全な登校を一番に考え判断をしてみたいと思いますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、9月1日は防災の日。ここ早川町では、先月26日(日)に防災訓練を行ったようですね。本校では、今日避難訓練を行いました。実際に、緊急地震速報の音を流したり、地震発生時の効果音を流したりする中で、できるだけリアリティーを持たせた訓練にしてみました。

地震防災に取り組む中で、シェイクアウト訓練という言葉を知ったことはありますか？この訓練は、アメリカ合衆国で始まった地震防災訓練です。日本でも2012年頃からシェイクアウト訓練が実施されるようになり、年々参加者数を伸ばしています。シェイクアウト訓練とはどのような内容の訓練で、どのようなメリットがあるのでしょうか？

シェイクアウトのやり方は、

- ① **DROP**(まず低く!) シャガんで姿勢を低くする(屋外の場合は、落下物の危険の少ない場所ですぐくまる)
- ② **COVER**(頭を守り!) 机やテーブルの下に潜り込んで頭を守る(屋外の場合は、カバンなどで頭を守る)
- ③ **HOLD ON**(じっと動かない!) じっと動かず揺れが収まるのを待つ

地震発生時、地震の揺れそのものによってケガをする人はそう多くありません。地震によるケガや死亡の原因の多くは、家屋の倒壊に巻き込まれたことや落下物に接触したことなど、揺れによって生じた事象が死傷の原因となっているのです。直近では、大阪北部地震で亡くなってしまった女の子のかわいそうな出来事を思い出します。また、地震によってケガをした人の地震直後の行動を確認してみると、安全な場所へ避難するために移動してケガをした人が多いそうです。こうしたことから、シェイクアウト訓練では、地震発生時における人的被害を最小限に抑えるためには、**DROP!**(まず低く!)、**COVER!**(頭を守り!)、**HOLD ON!**(じっと動かない!)という3つの動作の徹底が大切だと考えられています。

今日の訓練では、緊急地震速報の音を聞いたら、すぐにその3つの行動を教室内でとってもらいました。しかし、地震の発生は時間を選びません。学校にいる時ではなく、家にいる時かもしれません。また車やバスでの移動中やイオンでショッピング中かもしれません。その時どのように行動するかによって、地震が発生した後の人生を大きく左右します。子どもたちには、「学校にいる時は先生方がみんなを守るために必死に頑張るよ。でも、最終的には、自分の身は自分で守るんだよ」と、声を大にして伝えました。

「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉がありますが、その言葉はもう死語かもしれません。南海トラフ地震は、今後30年以内に起きる確率が70～80%とも言われています。いつ起きてもお不思議ではない巨大地震…。地震発生時、激しい揺れに襲われるまで、または何かが落下してくるまで、自分の身を守るためには数秒の猶予しかないかもしれません。いざという時に備えておくためには日頃の訓練が必要不可欠です。是非、ご家庭でも話題にしてください。お願いします m()m